

令和2年度千葉市あんしんケアセンター運営事業計画（中央区）

| | | |
|-----|--------------|---|
| 東千葉 | 担当圏域 地区課題 | ・千葉市の中心地域に位置し分譲マンションや戸建て住宅を中心とした地域と、単身者向けのアパートと戸建て住宅が混在する地域に分かれる。前者は比較的地域交流が盛んで組織的な支え合い活動も機能しているが、後者に関しては特にアパートに住む住民の孤立化が懸念されており、民生委員等との連携により社会参加や介護予防にどのようにして繋げるかが課題である。 |
| | 活動方針 (総合) | ・令和2年度はセンターの移転により「あんしんケアセンター東千葉」として新たなスタートの年となる。関係機関や地域住民への周知を行いより地域から信頼されるセンターとする為に、出前講座の開催、民生委員との連携、徘徊声かけ模擬訓練等実施し、地域包括ケアシステム構築の推進を図る。また、多問題家族や精神疾患等センターのみでは解決の難しい課題への取り組みとして医療機関や精神、障害分野等とのネットワークをより拡充し相談機関としての機能強化を目指す。 |
| | 重点活動 テーマ | ・出張相談会の立ち上げ ・あんしんケアセンターの周知を兼ねた出前講座の開設 ・体操教室の自主化 |
| 中央 | 担当圏域 地区課題 | ・同じ小中学校地区でも町丁により地域特性が大きく異なる。 ・昨年度実施した一部地域に対する全戸調査の結果、担い手不足が深刻であることがわかった。 ・地域によっては住民主体による支え合い活動が無いところがある。 ・転入者が多く、生活範囲内に知り合いのいない高齢者がいる。 ・マンション、住宅街ともに駐車場の無いエリアが多く、車を使った訪問型サービスの提供が困難になってきている。 |
| | 活動方針 (総合) | ・地域の関係機関と連携し、圏域内それぞれの地域特性に合った活動を展開していく。 |
| | 重点活動 テーマ | ・日常生活に活かされるリハビリ機会の提供 |
| 千葉寺 | 担当圏域 地区課題 | ・坂道や細い路地が多い地域であり、商店や医療機関が大きな街道沿いに集中している。また、公共交通機関利用のためには、そのような地形を通して大きな街道沿いまで出る必要性があることから、足腰が弱く生活のしづらさが生じる可能性がある。 ・一人暮らし、高齢者のみで構成された世帯からの相談が多く、複雑化した状況で相談に至ることも少なくない。複雑化する前に家族、近隣住民等が異変に早めに気づけるようまたセンターや各制度等についての周知が必要である。 |
| | 活動方針 (総合) | ・世代を問わずに『安心して年を重ねることができる地域』を目指し、関係機関と連携し、多世代に対して介護予防活動の大切さや認知症の理解、意思決定支援の大切さ等を伝え、地域住民が自身の将来を見据えて地域づくりに取り組めるように働きかけていく。 ・住民が地域での安心した生活の継続を目指し、様々なケースに対応ができるようまた持続可能な相談体制を確保するために職員の資質向上、状況が複雑化する前に相談機関にたどり着けるよう地域へのセンターの機能や各種制度等の周知を図る。 |
| | 重点活動 テーマ | ・地域の困りごとや心配事を契機とした、地域住民とともに考える地域包括ケアシステムの構築 |
| 松ヶ丘 | 担当圏域 地区課題 | ・高齢者人口の増加に伴い、単身世帯、高齢者世帯の相談が多く寄せられている。認知症や精神疾患を原因として生活に支障を及ぼしている方や経済的困窮にある方からの相談は多い。若くして要介護状態の方も増えてきている。 ・高齢者の健康維持、介護予防に資する教室やサークルなどの社会資源は増えてきているが、地域差があり整っていない地域もある。介護の担い手、後継者、自主活動組織、ボランティアなどのマンパワーが不足している。 |
| | 活動方針 (総合) | ・超高齢化社会を迎えるにあたり、高齢者一人一人ができるだけ長く健康で過ごせるように、地域住民とともに、地域特性に即した活動を行う。 ・防災対応の観点からも地域のネットワーク構築、地域包括ケアシステムの推進を図るため、積極的に地域に赴き、地域活動への参加協力、情報収集、調査等によりニーズ把握を行い、実情に合わせた地域づくりの活動に取り組む。 |
| | 重点活動 テーマ | ・出張相談会開催が必要な地区の把握や開催に向けての準備 ・団地住民、地域の実情に合わせた集まりの場・機会の提供 ・地域課題検討に向けた地域ケア会議開催 ・民生委員児童委員協議会定例会への参加 ・町内自治会長、民生委員、生活支援コーディネーターとの連携体制の構築 ・あんしん便りの回覧 |

| | | |
|----|--------------|---|
| 浜野 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・この圏域は内科疾患で入院できる病院がなく、医療機関も少ない。また、大型スーパーや銀行といった生活に密着した施設が少ない。JR浜野駅を有するが、浜野駅から離れた緑区に隣接する地区は、運転をやめた高齢者の自由な外出が難しい。中央区内では最も高い高齢化率だが、介護保険の認定率は一番低く、介護保険サービス利用に対して閉鎖的であることがわかる。また、町内自治会加入率も50%程度の地区もあり、町内自治会活動継続に課題がある。 |
| | 活動方針 (総合) | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が周囲の支援を受けながらも、住み慣れた地域でできる限り元気で、生きがい・尊厳のある暮らしを継続できるよう、その人の状態に応じて、医療・介護・予防・住まい及び生活支援サービスを継続して提供する「地域包括ケアシステム」の構築を深化するために、関係機関と連携を図り、多職種協働で取り組んでいく。 ・地域共生社会の足がかりになるよう、高齢者以外の方にもセンターの周知活動を行い、地域活動にも積極的に参加する。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> ・角栄団地自治会全戸訪問によるニーズ調査 |

令和2年度千葉市あんしんケアセンター運営事業計画（花見川区）

| | | |
|-------|--------------|---|
| こてはし台 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> センター所在地であるこてはし台は高齢化率が50%を超えており、高齢世帯や独居高齢者が多い。ボランティア団体などの支援者側も高齢化が進んでおり今後の支援体制に不安がある。 16号より北側（センター事務所より距離がある地域。）の宇那谷町、大日町、内山町、み春野地区では、人口密度が低くセンターへの相談件数が極端に少ない地域。通いの場やインフォーマルな社会資源も少ない。 |
| | 活動方針 （総合） | <ul style="list-style-type: none"> こてはし台地区での地域ケア会議（年2回）を継続し、住人と共に地域の高齢化に伴う課題を検討していく。 16号より北側の地域に対して、相談内容を分析し早期の段階から介護予防活動等の支援を行う。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> 相談内容の分析 出張相談会の開催 あんしんの周知活動と地域活動の参加 |
| 花見川 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> センター所在地である花見川団地は昭和43年に建てられた大型団地であり、建設当初の入居者が高齢となり担当圏域でもトップの高齢化率（平均43%）である。相談件数も花見川団地で約半数を占めている。相談内容については高齢化に伴う認知症に関する相談や高齢・独居世帯の安否確認などが多く、支援団体や地域関係者の大きな不安となっている。 |
| | 活動方針 （総合） | <ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き、高齢化率が高く認知症や安否確認の相談が多い、身近なエリアである花見川団地に向け「認知症・高齢になっても安心して生活できる団地を目指す」を主方針とし啓発活動を行う。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェの定期開催（回数の増加／周知集客活動の検討） 認知症声掛け訓練の計画と実施 |
| さつきが丘 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> 相談件数が半数近くを占めているさつきが丘地区では、独居、高齢者世帯が多い。また近年、認知症や障がい者、8050問題、生活困窮者、身寄りがいない等の課題を抱えている高齢者が増加している。生活課題を抱えているが、相談には至っていない高齢者を把握できていない。 犢橋中学校区においては、住宅の点在化や交通機関がないことによる高齢者の孤立化が目立つ。 |
| | 活動方針 （総合） | <ul style="list-style-type: none"> 生活課題を抱える高齢者の継続的支援と新たな対象者の発掘のため、民生委員や町内自治会をはじめとする各関係機関との連携強化を図る。 地区の特性や地域課題を共有するために、地域ケア会議を複数回開催し、地域住民と顔の見える関係づくりを行う。また、地域住民同士が支え合う関係づくりの橋渡しを行う。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者全戸ニーズ・地域特性調査 体操教室や集いの場の立ち上げ支援 地域課題検討に向けた地域ケア会議 |
| にれの木台 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> エレベーターのない中層団地が多く、外出困難や外出が億劫になっていて、他者との交流の機会が減少している。 高齢者世帯や独居の方が多く居住されている。自治会の未加入者が多く住民間の交流も少ない。地理的には坂道が多く交通の便も悪く外出の頻度が少なく引きこもりになる現状が明らかになった。交流できる居場所づくりや、住民の関心が高い認知症について兆候を見逃さず情報の提供が受けられる関係づくりが必要である。 |
| | 活動方針 （総合） | <ul style="list-style-type: none"> 住民が住み慣れた地域で安心した生活が送れるように積極的に支援していく。 認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に対する知識・理解を深め、認知症になっても地域で安心して生活できる体制づくりを構築していく。 自治会や社会福祉協議会・生活支援コーディネーター等関係機関と連携し、地域社会資源の把握につとめ、高齢者の居場所づくりの開拓を行う。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> 新規相談場所の開設 団地自治会関係者との連携の強化 |
| 花園 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> JR新検見川駅に近い南北に広がる地域。比較的交通の便は良く、東京のベッドタウンとして40年以上前に建てられた住宅が多い。独居や高齢者世帯も多く、地域によっては住民同士の関係性が希薄である。高齢化率も上がっている為、認知症や高齢者サービス等の周知活動が必要である。また、地域の活動場所はあるが、その場所までの移動手段が少ない為、利用したくても利用ができない地域もある。 |
| | 活動方針 （総合） | <ul style="list-style-type: none"> 住民組織やサロン、事業所懇談会等に積極的に参加し、地域住民の方と話す機会を継続的に持つ。 地域住民が安心して地域に住み続けられるように地域住民や関係機関との連携を図る。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> 花園地域の見守りネットワークの強化 |

| | | |
|--------|--------------|--|
| 幕 張 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・圏域の高齢化率は区内で一番低い18%だが、高齢者人口は区内で2番目に多い9,863人。幕張町から武石町にかけて急速に戸建の住宅地が整備され、子育て世代の方々の転入が急増中。古家跡地に単身者用の集合住宅が多数建築されており、若い単身者の転入も目立つ。転入者のセンター認知度は、極めて低いと推測される。埋め立てにより拡張された地域は、1970年代に建築されたマンション群があり、入居者の多くが後期高齢者となっている。自主活動組織の活動では、運営・参加者の高齢化に伴う役割交代が進まず、転入住民との交流にも課題あり。 |
| | 活動方針 (総合) | <ul style="list-style-type: none"> ・行政機関や民児協や自治会をはじめ、社協地区部会や自主活動組織と連携し、高齢者が安心して暮らし続けられる環境整備を目指す。 ・地域住民間の顔なじみを増やし、変化への気づきや一声かけられる関係づくりの構築を推進する。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェ：メモリーCaféはな開催 |

令和2年度千葉市あんしんケアセンター運営事業計画（稲毛区）

| | | |
|-----|--------------|--|
| 山王 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> 戸建住宅、集合住宅においても地域コミュニティが機能している地域は多いが、高齢化から支える力が弱くなってきている。自治会のない集合住宅もあり、要支援者の把握が難しい地域がある。 |
| | 活動方針 (総合) | <ul style="list-style-type: none"> 地域活動の継続・地域ケア会議の開催などを行い、地域課題の抽出・解決を目指していく。自治会のない地域に対しても、民生委員などと連携し、要支援者の把握に努めていく。 宮野木出張所においても自治会などと連携し、地域包括ケアシステムの構築を目指していく。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェ立ち上げ |
| 園生 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> 団地の高齢化率（令和元年12月末現在44.3%）は依然として高いうえに、独居高齢者も多い。 引きこもりや障害のある子どもとの同居世帯に対しての相談が増えてきている（昨年比17件増）。 地域の支援者も高齢化している。 |
| | 活動方針 (総合) | <ul style="list-style-type: none"> 地域住民の方の主体性を尊重し、できるだけ地域の声（ニーズ）を形とする。 高齢者のみならず多世代交流を視野に、イベントや講座を検討していく。 自治会等だけでなく、民間企業や団体とも協力し「地域のなかで助け合う」地域づくりを行っていく。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> 体操教室の立ち上げ支援 |
| 天台 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者の増加に伴い近隣同士のトラブルや高齢ドライバーの問題解決が課題となっている。 通いの場や自治会に加入していない単身高齢者が引きこもりとなり周囲から孤立してしまう問題が生じている。 障害や精神疾患、8050問題や経済的問題など複合的な問題を抱える世帯が多い。 場所や担い手の不足から通いの場を作る事が難しい。 |
| | 活動方針 (総合) | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の担当機関だけでなく、障害や児童も含めた公民様々な機関と関係を作り、地域包括ケアシステムを構築する体制作りを強化していく。 若い世代に対して積極的にアプローチを行い、将来の担い手にあたるべき社会資源の確保に努める。 高齢者が身近な場所で集い、介護予防を目的としながら社会的役割を持ち続けられる環境を整備する。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> 地域課題の解決に向けた地域ケア会議の開催 介護予防事業に資する、地域サロンへの支援 運動教室以外の介護予防事業の立ち上げ 既存の体操教室、認知症カフェへの支援 見守りポイントやエンディングサポート等の勉強会 認知症SOS声掛け模擬訓練の実施 民生委員や自治会長等の、地域住民との意見交換会 |
| 小仲台 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> 町会・自治会の組織がある中でも、自治意識の差が生じている。自治意識が高い組織は高齢者同士の助け合いを目的としたサークル結成など、自助だけではなく互助への和が広がってきている。一方、組織の自治意識が低い場合は、自助、互助への意識が低く、公助、共助を利用し、生活再建を目指す傾向にある。そのため、地域の問題を住民主体で解決することが難しい。 |
| | 活動方針 (総合) | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者サロン、民生委員の会議、社会福祉協議会の地区部会、地域住民の主体の体操教室、あんしんケアセンター主催の講座や出張講座等の機会を活用し介護予防を含め個人の課題から地域で取り組む具体的な課題となるような働きかけを行う。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> 地域課題検討に向けた地域ケア会議 既存のサロン、子ども食堂など的高齢者の集いの場として利用可能な資源の発掘、後方支援 体操サークルの後方支援 |

| | | |
|----|--------------|--|
| 稲毛 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> 区内の圏域における高齢化率は20.7%であるが、公共交通機関の利便性が高いため、近年新しく大型マンションが建設され若い世代の流入が大きく影響している。また利便性を求め、高齢者のマンションへの転入も多く、振興住宅地では世代格差や、地域のつながりが築きにくい傾向がある。新天地での環境で交流が深められず孤立化したり、同居世代でも子世代が就労により日中独居となり、他者との交流がないまま孤立化した時間を過ごし、不活動になる。旧来の居住者に関しては近隣者と繋がりがあっても、互いの身体面の低下や配偶者の他界により孤立化しているため、地域活動の促進を急務に進める必要がある。 |
| | 活動方針 (総合) | <ul style="list-style-type: none"> 振興住宅街の活躍者と関係性を構築し、地域住民に介護予防の周知を行う。 関係機関との連携し、住民主体の集いの場を増やし参加を促す。また地域課題を発掘するために地域ケア会議を繰り返し実施しネットワークを構築する。 高齢者に必要な情報を講座や情報誌等で発信し、幅広く啓発ができるよう進めていく。 個別訪問を繰り返し、高齢者との信頼関係を構築しながら、自立支援に向けた支援を実施していく。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> 介護予防教室・住民主体の活動を周知し、ボランティアと協働開催 福祉施設との連携を図り顔の見える関係、地域との助け合いを強化 地域課題検討に向けた地域ケア会議の実施 徘徊模擬訓練の実施 いきいき活動手帳の配布と活用 |

令和2年度千葉市あんしんケアセンター運営事業計画（若葉区）

| | | |
|------|--------------|--|
| みつわ台 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> 自治会の数が多く、地域を細分化している。自治会活動をする場が少なく、自治会活動に支障を来している。 支え合い活動が充実している地域とそうでない地域の差異がある。 地域福祉を推進して行く次世代の担い手が不足している。 医療、福祉、教育等の各分野間の連携が十分では無い。 |
| | 活動方針 (総合) | <ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーターと連携を図りながら、NPO、ボランティア活動等によるサービス資源の開発を支援する。 地域ケア会議等で、地域の支え合い活動団体との協議の場を持ち、地域課題の創出、実行性のある目標立てをする。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> 地域課題検討に向けた地域ケア会議の開催 県営住宅組合を中心とした見守りネットワークの拡充 |
| 都賀 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者世帯、独居世帯が増加し、世帯構成員が精神疾患等の理由で就業していない等、複合的な問題のある事例が増加している。 担当圏域の高齢化率は、駅周辺などは20%台の地区もある一方、40～50%と高い地区もあり支援者側も高齢化してきている。また、地域によって住民の地域福祉に対する意識に差がある。 |
| | 活動方針 (総合) | <ul style="list-style-type: none"> 各地域の特性や実情を踏まえてニーズを把握し関係機関と連携を図り、地域包括ケアシステムが構築できるよう努める。 住民主体の活動が少ない地域について啓発活動と活動支援を行い、歩いて通える場所に介護予防の活動ができる環境を整備する。 住み慣れた地域で生活し続けられるよう、適切な支援を行う。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> ミニデイわかまつの活動継続支援 |
| 桜木 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> 地域住民の福祉に関する意識は地域により差がありアプローチが難しい。古くからの地域住民と他方から転居してきた住民との間に意識の差の問題がある。 地域活動の担い手が高齢化し担い手不足である。 買い物やサロン活動への参加等について交通手段がない等「あし」の問題がある。 個別的には身寄りのない一人暮らし、家族に精神疾患がある、金銭的問題がある、虐待等複合的な問題を抱えている事例が多い。 |
| | 活動方針 (総合) | <ul style="list-style-type: none"> 地域の実情に即した働きかけを行い、あんしんケアセンター桜木ならではの活動を展開する。 職員の援助技術の向上を図り、個々の総合相談を通じて地域住民や多機関、多職種との連携を図る。特に区との連携を強化する。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> 社協桜木地区部会、貝塚地区部会との連携 |
| 千城台 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> 圏域西側の人口密集地にあたる千葉都市モルレル沿線の小倉台、千城台地区は、高齢化率が30～40%台で、社協地区部会や自治会での互助活動も活発に行われているが、活動参加者や担い手減少がある。また、圏域東側は公共交通機関の利便性は悪く、通院や買い物等に苦慮している高齢者世帯がある。なお、圏域に市営住宅約2,640戸（一部用途廃止を含む）、県営住宅2,027戸があり、地域との関係性が希薄な高齢者も多く居住し、生活課題が表面化しにくいことが多い。 |
| | 活動方針 (総合) | <ul style="list-style-type: none"> 圏域内の様々な団体と意見交換や情報提供等の交流機会の場を設け、地域高齢者の現状把握や交流機会を通じて様々な情報発信を行い、関係機関との連携を推進する事で地域内の課題把握や解決に向けて関係機関との協働を行いながら地域の特性に応じた「地域包括ケアシステム」の構築に努める。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> 地区部会運営の「サロン水曜日」「サロン金曜日」への毎月参加による活動支援及び参加者、地域への情報発信 |
| 大宮台 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢化率46%を超える圏域であり、農業が盛んで集落が点在している地域特性がある。 独居や高齢者世帯が多く、認知症(疑い)の方が増えており、何らかのニーズを持っていてもサービスにつながっていなかったり、問題を抱えたまま生活しているケースが考えられる。 圏域内の商店や開業医が減っており、交通の利便性も良くないため、生活に支障が出ている。 |
| | 活動方針 (総合) | <ul style="list-style-type: none"> 各地域における地区特性や実情を踏まえて、地域ケア会議等を通じて地域住民が抱える課題を把握し、地域の様々な関係機関と連携を図りながら、「地域包括ケアシステム」の構築・推進に取り組みます。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> 地域高齢者が気軽に通える「集いの場」の充実 |

令和2年度千葉市あんしんケアセンター運営事業計画（緑区）

| | | |
|----|--------------|---|
| 鎌取 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・鎌取圏域の高齢化率は16.19%(令和元年12月末時点)で、市内の他圏域と比較して最も低いですが、5年後～10年後には高齢化率が急速に高まると予測されており、介護予防や生活支援に関する受け皿不足が懸念される。 ・呼び寄せ高齢者が多い地域や自治会加入率が低迷している地区があり、地域のつながりの希薄さがうかがわれる。地域活動への参加や支援体制に地域差が生じるとともに、担い手の高齢化が進んでいる。 |
| | 活動方針 (総合) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議の開催を通じ、各地区毎の特性と課題の把握に努め、地域包括ケアシステムの構築を目指す。 ・地域住民が健康な段階から、介護予防や終活といったことに目を向け、自発的に取り組めるよう支援を行う。 ・要援護者に対し適切な相談・支援、サービス等が切れ目なく提供されるよう、常に権利擁護の視点を意識し、要援護者の尊厳のある生活の維持を図っていく。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者が、自らの生き方について考えながら、課題解決に向けた取り組みを「自発的」に進められるような動機付けの実施 (健康に関するミニ講座や健康測定会の実施、「自助」「互助」についての意識付けや、課題解決に向けたヒントを得るための、公開講座の開催) |
| 誉田 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・圏域を東西に走る幹線道路とJR以外は交通手段がほとんどなく、車の運転をしない高齢者は近隣から出られない。 ・農業を主体とする世帯が多く、労働時間が季節や世帯によって異なること、また地縁は強いが、習慣的に行われてきた関り以外の関りを増やすことには消極的なため、新たに定期的な活動やNPOなどの活動を始める意識を持ちにくい。 ・古くからのつながりが強く、連帯感がある一方で、家庭内の問題を表に出そうとしない傾向がある。 ・居宅介護支援事業所の数が少なく(8ヶ所)、介護支援専門員のスキルアップにつながりにくい。 |
| | 活動方針 (総合) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中に、より積極的に出向き、直接あんしんケアセンターやその活動を周知するとともに地域課題の早期発見につなげていく。 ・地域ケア会議や多職種連携会議などを活用し、専門職のスキルアップを図ると同時に、専門職間あるいは専門職と住民の距離を縮めて、課題の早期発見や解決にむけて多角的な視点を持てるように努める。 ・住民主体の集いの場や互助グループの立ち上げ支援に力を入れる。 ・いずれの活動も、3職種の専門性を活かしながら、チームで課題の解決にあたる。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> ・年1回健康測定会の開催及び測定会後のフォローアップ教室の開催 |
| 土気 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の転入で高齢化率が10%に満たない新興住宅地と宅地開発され40～50年経過し、高齢化率が45%を超えている戸建て団地の地区が混在しており、全体的に高齢化が進行している。 ・高齢化率が高い地区は単身や高齢者夫婦のみの世帯が多く、孤独死や老老介護の状況が多く見られる。また、高齢者と同居する子が精神疾患や障害がある等複合的な課題を抱える世帯が多い。 ・圏域全体が交通の便が悪く、通院や買い物等移動に困っている高齢者が多い。 |
| | 活動方針 (総合) | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率が高い地域については関係機関や地域の関係者との連携を強化し、地域課題の検討や認知症施策に関する地域への働きかけ、集いの場等地域の拠点づくりの支援を行う。 ・高齢化率が比較的低い地区では出張健康相談会の開催等地域へ出向き、センターの周知や介護予防に関する啓発活動を積極的に行う。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> ・空き家を活用したコミュニティカフェ「お茶っこ」の立ち上げ支援 ・土気圏域多職種連携会議 |

令和2年度千葉市あんしんケアセンター運営事業計画（美浜区）

| | | |
|----|--------------|---|
| 真砂 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・独居・高齢世帯が多く、中でも呼び寄せ高齢者が増えてきている。 ・近隣との交流・見守り体制が希薄、相談・支援先を知らないことで問題が潜在化、事態の重症化を招き易い。 ・エレベーターのない低中層住宅がおよそ80棟あり、居住する高齢者の外出が困難となり、閉じこもりが問題となっている。 ・圏域に医療機関（入院設備有2か所、訪問診療2か所）、介護サービス事業所（入所施設3、訪問介護1、訪問看護1、デイ等5、ケアマネ3）が少ないため、在宅医療や自立支援に向けた社会資源の選択が制限される懸念がある。 |
| | 活動方針 （総合） | <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の見守りの意識を高めることで、支援が必要な高齢者の早期発見に努め、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように適切な支援につなげる。 ・地域包括ケアシステムの推進に向けて、介護予防講座の開催、介護予防活動団体への支援、生活支援コーディネーターとの連携により、不足しているサービスや担い手の創出、養成に取り組むと共に、地域の関係機関や関係団体とのネットワーク構築を図る。 ・総合事業利用対象者に対し、介護保険制度及び総合事業の情報提供、ケアマネジャーの紹介などを適切に行うことにより、サービスが効果的に提供されるよう援助を行う。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て、現役世代への介護予防及びあんしんケアセンターの普及啓発 |
| 磯辺 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・地区により高齢化率や地域特性に大きな差がある。エレベーターのない中層団地が多く外出困難となってくる。磯辺は4階・5階には空き部屋が出てきている。 ・圏域内には医療機関、介護事業所などの社会資源や高齢者が歩いて行ける範囲の商店なども少ない。 |
| | 活動方針 （総合） | <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の特性やニーズに合わせた地域包括ケアシステムの構築へ向けて、保健福祉センター、医療機関、介護サービス事業者、民生委員、自治会、社会福祉協議会等との連携を深め協働して取り組む。 ・また、関係機関との連携を取りながら地域での住民主体となれる活動の促進を図る。 ・地域ケア会議を実施し、地域課題を明確にし、関係機関と共有する。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> ・生活上の問題に対する住民のセルフケアの実態の把握 |
| 高洲 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・独居率が高く高齢者世帯も多い。家族等のキーパーソンが不在であったり、遠距離に在住していることで医療面、認知面での問題に対し発見が遅くなり対応も困難となっている。 ・集合住宅で占められている地域で他市、他県から移住してくる方が多く地域の資源が分からなかったり、コミュニティをうまく活用出来ないことで引きこもりになっている方が多い。 ・サービス事業者、高齢者施設が少ないことで適切なサービスに結びつけていくことが遅くなることもある。 |
| | 活動方針 （総合） | <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談が多い中センター内、外部の機関との連携を図り効率よく支援を行う。相談の終結を明白にしていく。 ・相談業務中心で業務がまわっている中、地域の介護予防事業をしっかりと認識し、他機関の運営を後方支援していく。また自主サークルに関しても工夫した活動を取り入れていく。 ・地域の社会資源の把握に努め、住民や関係機関に伝えていく役割を担っていく。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携会議等により各機関の役割の確認 ・終結していないケースに対しての積極的アプローチ ・課題解決に向けてのケース会議 ・全職員による終結確認票の作成 ・職員のスキルアップとしての内外部の研修参加 |
| 幸町 | 担当圏域 地区課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・独居、高齢世帯の孤立化、経済的困窮、精神疾患、家族問題、権利擁護が絡む複合的な問題がある。 ・地域により見守り機能や地域活動に差があり、問題が潜在化しやすい。 |
| | 活動方針 （総合） | <ul style="list-style-type: none"> ・独居、高齢者世帯の見守り体制を構築し、問題の早期発見につなげる。 ・ネットワークの強化を図ると共に、地域力の向上を支援する。 ・コミュニティーの少ない地域の実情を把握し、相談の支援体制を整える。 |
| | 重点活動 テーマ | <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な周知活動とコミュニティーやネットワークの形成 |